会　議　報　告　書

決　　裁							
市　長	副市長	部　長	課　長	副主幹	主査	主査補	班員
						相馬	富田

会議の名称　「北総線耐震化対策協議会」

報告者の職氏名	企画政策課　企画政策班　　主事　　堀田　侑希
日　　時	平成２６年８月１９日（火）　１５時００分～１７時００分
場　　所	白井市　本庁舎６階　委員会室
出 席 者	別添出席者名簿のとおり

＜案件＞
・耐震化について
・その他

＜会議概要＞

・耐震化について
○耐震化事業について
　北総鉄道より耐震化事業について説明。
　自治体が必要な詳細資料について確認。

（沿線市からの意見）
　消費税分は補助対象になるのか。

（事務局より）
　北総に出席していただいての説明は本日で最後となるので、今後質問がある場合は、事務局から北総へ確認することとする。

・その他
○耐震化事業費の負担割合について
　各市より、負担割合に係る考えを説明。
　負担割合の要件について議論。

（事務局より）
　今日の議論を受け、「事業費割」「受益量割」の要件を基本として、今後配分を調整するという流れで進めていきたいので、各市持ち帰っていただきたい。

⑧-1

北総線耐震化対策協議会

日時：平成２６年８月１９日（火）
午後３時から
場所：白井市役所６階　委員会室

次　　第

１　開　会

２　案　件

・耐震化について

・その他

３　閉　会

⑧-2

北総線耐震化対策協議会　出席者名簿

平成26年8月19日（火）　午後3時から
白井市役所6階　委員会室

【出席者】

団体名	職名	氏名
千葉県 交通計画課	副主幹	町山　明
	副主幹	里見　季彦
松戸市 交通政策課	課長	菊池　謙次
	主任技師	岡崎　尚美
市川市 交通計画課	課長	花見　安弘
	主幹	小林　英樹
	主任	山田　陽一
鎌ヶ谷市 都市計画課	課長	金子　文夫
	室長	佐瀬　功
	主査	星野　繁和
船橋市 政策企画課	課長補佐	篠浦　淳二
	主査	千脇　真治
都市計画課 交通政策室	室長	細川　裕之
	副主査	濱田　俊幸
印西市 企画政策課	課長	小川　義雄
	室長	堀越　庄一
	主査	根本　建吾
白井市 企画政策課	部長	内藤　健作
	課長	折山　郁子
	副主幹	津々木　哲也
	主事	堀田　侑希

非　公　開

平成26年5月27日
北総鉄道株式会社

北総線　千葉県内区間の耐震補強計画

図面No.	区　間		工事費（百万円）			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	計
①	都県境～矢切駅		110	186	0	296
		松戸市	110	186	0	296
②	矢切駅（トンネル中柱）		238	259	357	854
		松戸市	238	259	259	756
		市川市	0	0	98	98
③	北国分駅～秋山駅		129	170	302	601
		松戸市	129	170	302	601
④	東松戸駅付近		0	116	150	265
		松戸市	0	116	150	265
⑤	松飛台駅～大町駅		212	274	220	706
		松戸市	212	274	220	706
⑥	大町駅～新鎌ヶ谷駅		256	281	514	1,051
		市川市	49	56	204	309
		松戸市	140	194	98	432
		鎌ケ谷市	67	31	212	310
⑦	新鎌ヶ谷駅～西白井駅		84	0	0	84
		鎌ケ谷市	84	0	0	84
⑧	小室駅～千葉NT中央駅		0	101	106	207
		船橋市	0	18	0	18
		白井市	0	84	106	189
年度　計			1,028	1,387	1,649	4,063

※　金額については確定したものではなく、とりわけ同一年度内の区間別、市域別の金額は変更の可能性がある。

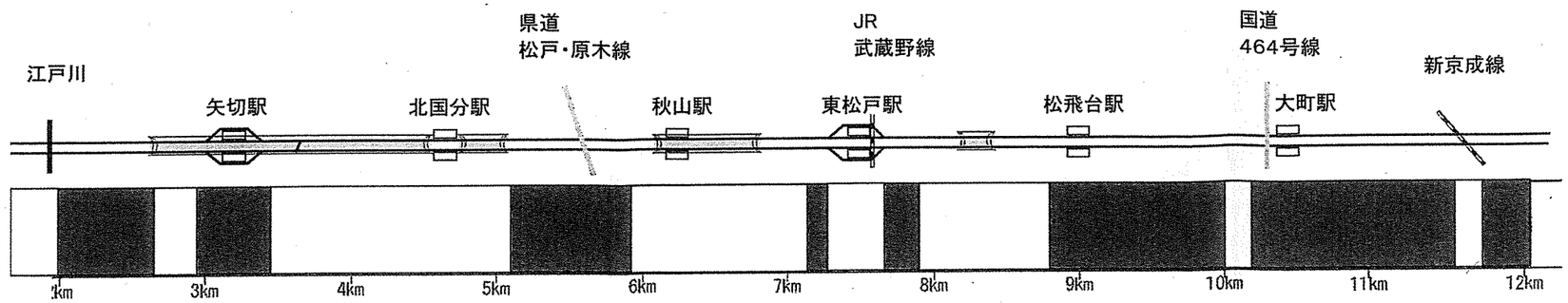
○市域別の工事費

	工事費（百万円）			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	計
松戸市	829	1,198	1,029	3,056
市川市	49	56	302	407
鎌ケ谷市	150	31	212	393
船橋市	0	18	0	18
白井市	0	84	106	189
印西市	0	0	0	0
年度　計	1,028	1,387	1,649	4,063

※　金額については確定したものではなく、とりわけ同一年度内の市域別の金額は変更の可能性がある。

非　公　開
平成26年7月23日
北総鉄道株式会社

北総線　千葉県内の耐震補強補助対象数量



① 図面:①－1～4　柱 112本　橋りょう 5連

② 図面:②－1～2　柱 244

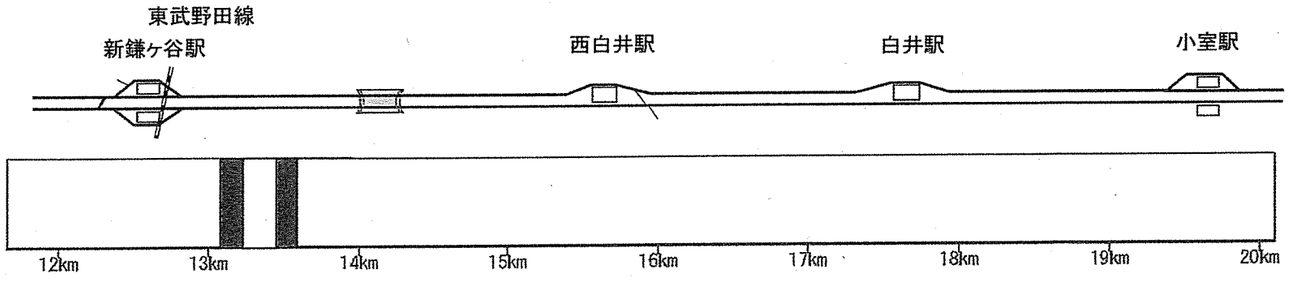
③ 図面:③－1～3　柱 214本　橋りょう 13連

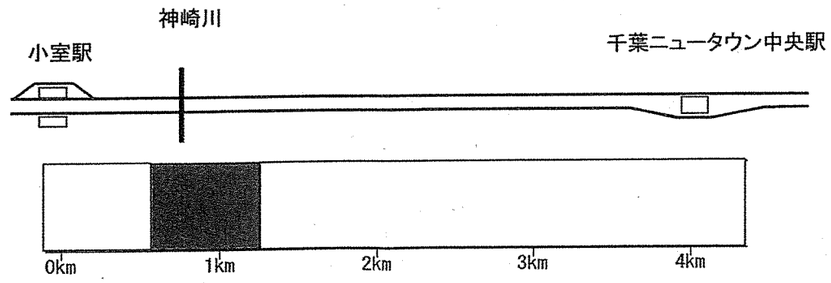
④ 図面:④－1～2　柱 116本　橋りょう 1連

⑤ 図面:⑤－1～3　柱 266本　橋りょう 4連

⑥ 図面:⑥－1～7　柱 390本　橋脚 3基　橋りょう 11連

該当図面	①－4	②－1，2	③－3	－	⑤－1，2	⑥－1，3，4，5
H27	柱 50本	柱 68本	柱 54本 橋りょう 1連	－	柱 72本 橋りょう 3連	柱 92本 橋脚 2基，橋りょう 2.5連
H28	柱 62本 橋りょう 5連	柱 74本	柱 68本 橋りょう 2連	柱 48本 橋りょう 1連	柱 108本 橋りょう 1連	柱 98本 橋りょう4.5連
H29	－	柱 102本	柱 92本 橋りょう 10連	柱 68本	柱 86本	柱 200本 橋脚 1基，橋りょう 4連





⑦ 図面:⑦　柱 38本

該当図面番号	⑦
H27	柱 38本
H28	－
H29	－

⑧ 図面:⑧－1～2　柱 94本

－	
柱 46本	
柱 48本	

市別施工数量

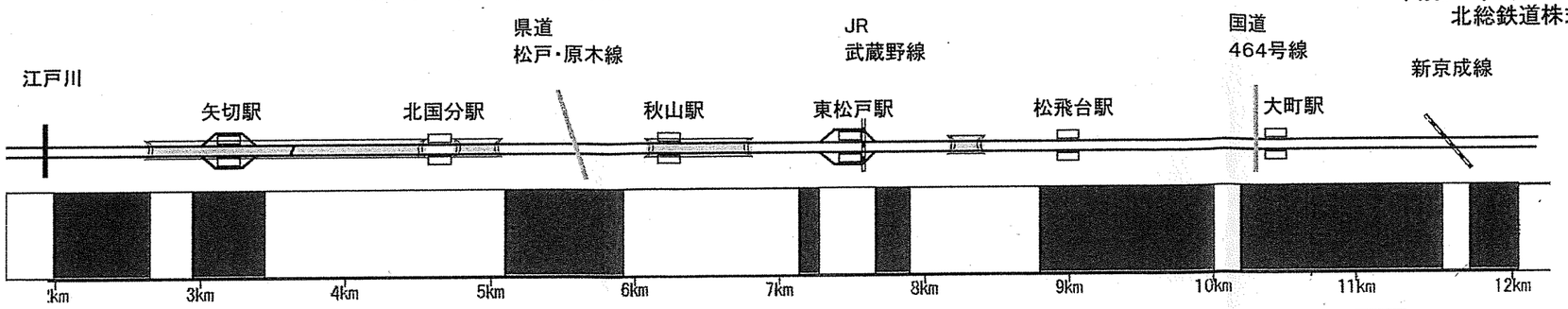
図面番号			①	②		③	④	⑤	⑥			⑦	⑧		集計					総計
年度	補強名	単位	松	松	市	松	松	松	松	市	鎌	鎌	船	白	松戸	市川	鎌ケ谷	船橋	白井	
27年	柱補強	本	50	54	14	54		72	52	14	26	38			282	28	64			374
	橋脚補強	基									2						2			2
	落橋防止	連				1		3	2		0.5				6		0.5			6.5
28年	柱補強	本	62	60	14	68	48	108	70	16	12		8	38	416	30	12	8	38	504
	橋脚補強	基																		
	落橋防止	連	5			2	1	1	1	3	0.5				10	3	0.5			13.5
29年	柱補強	本		102		92	68	86	40	66	94			48	388	66	94		48	596
	橋脚補強	基									1						1			1
	落橋防止	連				10			4						14					14
計	柱補強	本	112	216	28	214	116	266	162	96	132	38	8	86	1,086	124	170	8	86	1,474
	橋脚補強	基									3						3			3
	落橋防止	連	5			13	1	4	3	3	1				30	3	1			34

凡例
■ 補助対象
═ 緊急輸送道路（未施工分）

※数量等については確定したものではなく、今後変更の可能性もある

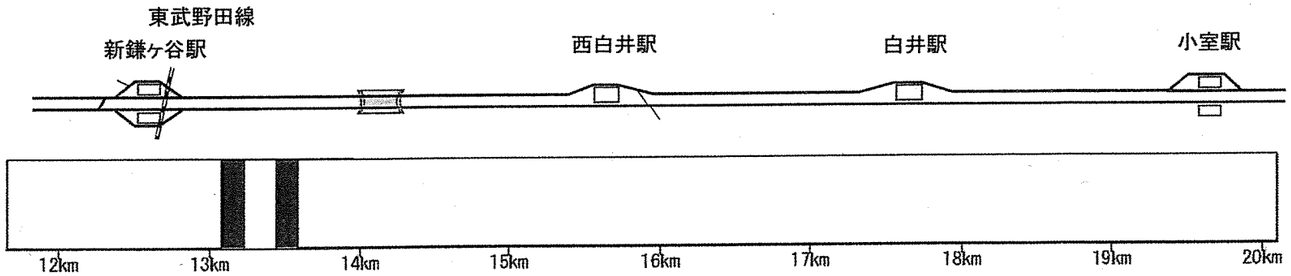
非　公　開
平成26年7月23日
平成26年8月19日修正
北総鉄道株式会社

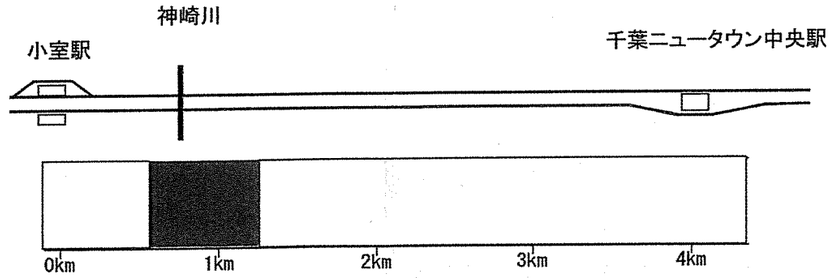
北総線　千葉県内の耐震補強補助対象数量



①	②	③	④	⑤	⑥
図面:①－1～4	図面:②－1～2	図面:③－1～3	図面:④－1～2	図面:⑤－1～3	図面:⑥－1～7
柱　112本 橋りょう　5連	柱　244	柱　214本 橋りょう　13連	柱　116本 橋りょう　1連	柱　266本 橋りょう　4連	柱　390本 橋脚　3基 橋りょう　11連

該当図面	①－4	②－1，2	③－3	④	⑤－1，2	⑥－1，3，4，5
H27	柱 50本	柱 68本	柱 54本 橋りょう 1連	－	柱 72本 橋りょう 3連	柱 92本 橋脚 2基，橋りょう 2.5連
H28	柱 62本 橋りょう 5連	柱 74本	柱 68本 橋りょう 2連	柱 48本 橋りょう 1連	柱 108本 橋りょう 1連	柱 98本 橋りょう4.5連
H29	－	柱 102本	柱 92本 橋りょう 10連	柱 68本	柱 86本	柱 200本 橋脚 1基，橋りょう 4連





⑦
図面:⑦
柱　38本

該当図面番号	⑦
H27	柱 38本
H28	－
H29	－

⑧
図面:⑧－1～2
柱　94本

⑧
－
柱 46本
柱 48本

市別施工数量

図面番号			①	②		③	④	⑤	⑥			⑦	⑧		集計					総計
年度	補強名	単位	松	松	市	松	松	松	市	松	鎌	鎌	船	白	松戸	市川	鎌ケ谷	船橋	白井	
27年	柱補強	本	50	68		54		72	14	50	28	38			294	14	66			374
	橋脚補強	基								2					2					2
	落橋防止	連				1		3		2	0.5				6		0.5			6.5
28年	柱補強	本	62	74		68	48	108	16	70	12		8	38	430	16	12	8	38	504
	橋脚補強	基																		0
	落橋防止	連	5			2	1	1		4	0.5				13		0.5			13.5
29年	柱補強	本		74	28	92	68	86	66	40	94			48	360	94	94		48	596
	橋脚補強	基									1						1			1
	落橋防止	連				10			3	1					11	3				14
計	柱補強	本	112	216	28	214	116	266	96	160	134	38	8	86	1,084	124	172	8	86	1,474
	橋脚補強	基								2	1				2		1			3
	落橋防止	連	5			13	1	4	3	7	1				30	3	1			34

凡例
■ 補助対象
═ 緊急輸送道路（未施工分）

※数量等については確定したものではなく、今後変更の可能性もある

非　公　開

平成２６年８月１９日

北総鉄道株式会社

標準単価の設定について

１．施工の標準単価について

		設定単価	設定根拠
柱補強	一般部	220 万円/本	過年度実績に、一般部でも特殊工法や支障物の発生が見込まれるため上積みして設定
	開削ﾄﾝﾈﾙ駅部	350 万円/本	主に想定される工法の一面補強の単価に施工場所の特殊条件（駅部、夜間作業、資材の搬出入が困難等）を加味して設定
	橋脚	500 万円/基	施工実績がないため一般部の柱補強の単価から補強面積比等を加味して設定
落橋防止	橋りょう	1000 万円/連	過年度実績に加え、下記２．の事情も加味して設定

２．標準単価設定根拠（H24・H25 の契約実績）

標準単価の設定については、一昨年以降、労務単価が急激に上昇しだしたことから、昨年、一昨年の契約実績を参考にしたうえで、この傾向が今後も続くものとして設定しました。

○柱補強

	施工数（本）	金額（百万円）	単価	備　考
一般部	86	186.7	217 万円	一面補強５本含む
開削トンネル・駅部	10	32.5	325 万円	変電所建屋部での施工 全て一面補強

○落橋防止

施工数（連）	金額（百万円）	単価	備　考
10.5	92.0	876 万円	全て都内の高架下利用部での施工 全て PC 桁

今後の施工箇所にはＰＣ桁以外の桁もあること等を加味して設定。